

2023年10月10日
東北電力株式会社

東通原子力発電所における固体廃棄物貯蔵所の貯蔵容量の増強について

1. 放射性固体廃棄物の保管状況

東通原子力発電所では、点検等により発生した布・紙・ゴム手袋等の放射性固体廃棄物を200リットルドラム缶に詰め、固体廃棄物貯蔵所(以下「貯蔵所」という。)(添付図 参照)に保管しております。

放射性固体廃棄物は、貯蔵所の貯蔵容量18,360本(ドラム缶相当)に対し、2023年8月末時点における保管量は15,176本(ドラム缶相当)となっております。

2. 放射性固体廃棄物の発生状況

放射性固体廃棄物の発生量については、設備の維持点検等により継続的に発生するため、様々な廃棄物低減の取り組みを継続的に実施し、増加をできる限り低く抑えるように努めております。

3. 今後の対応

現状までの廃棄物発生量を踏まえると、廃棄物貯蔵所の貯蔵容量に達する時期については、今年度初頭の予測に対し1年程度の余裕が確保されました。当社はこうした状況を踏まえ、適切な時期に貯蔵容量の増強に関する原子炉設置変更届出を行うとともに、引き続き、廃棄物発生量の管理、低減に取り組んで参ります。

以上

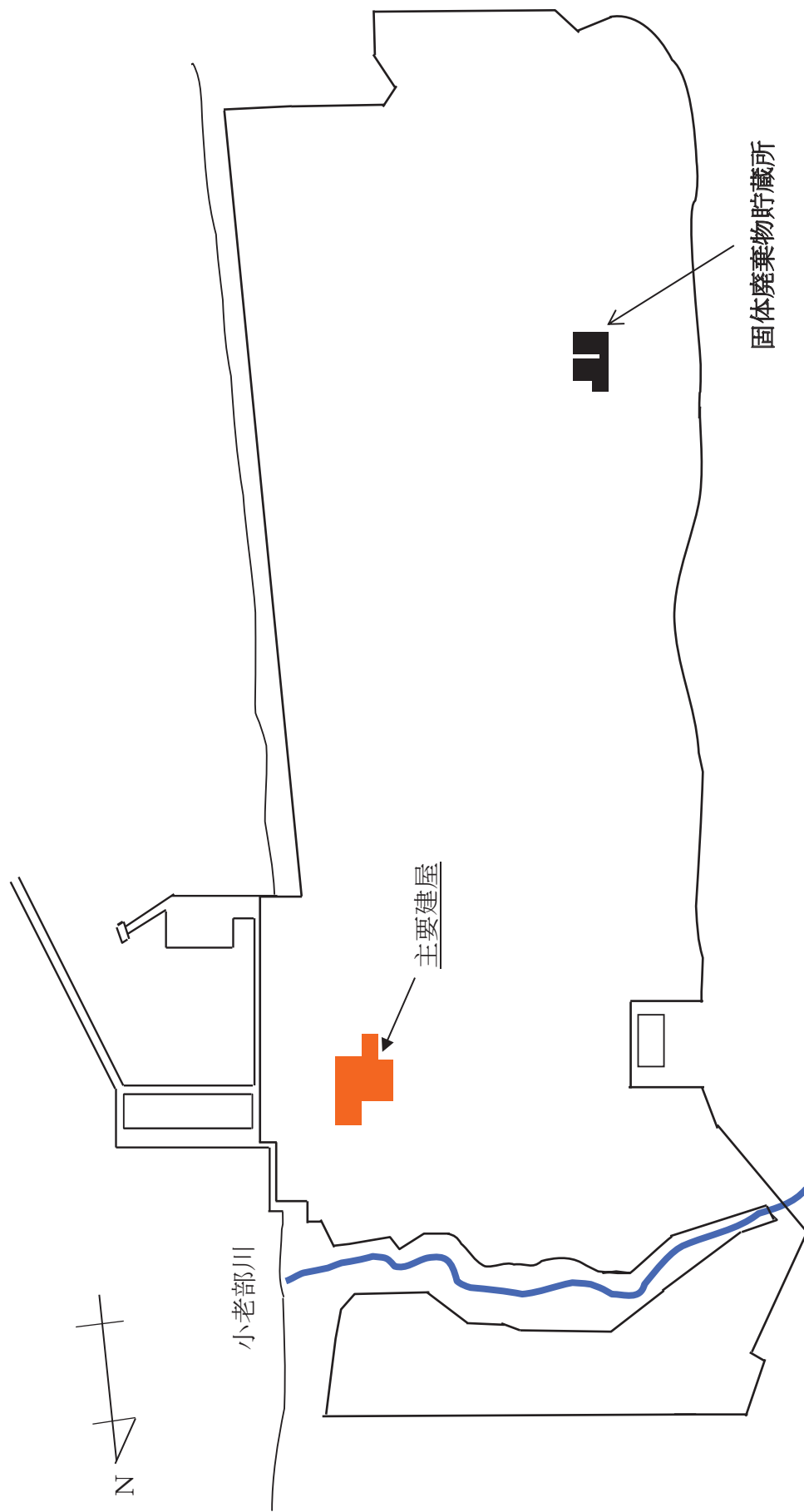


図 東通原子力発電所 固体廃棄物貯蔵所設置場所